

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	健康管理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	難波 浩子	実務経験と その関連資格	中学高校保健体育教員資格			
《授業科目における学習内容》						
リファレンスブックを用いて課題に対してグループ考察やディスカッションなどを取り入れ講義と演習形式で行なう。 科学的・論理的思考のもと各年代層に応じた健康指導の仕方を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
・定期試験 70% ・出席 20% ・平常点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
日本スポーツ協会 リファレンスブック						
《授業外における学習方法》						
健康づくりや疾病予防の基礎的な知識を理解し、健康と健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況や高齢化の現状をふまえ、それを推進する保健医療・介護の制度について理解するために独自で社会情勢など情報収集をする。						
《履修に当たっての留意点》						
スポーツ観戦など積極的に行い 各スポーツの面白さを学ぶとともに バックで支えている立場になることもわかまえ、いろいろな角度からスポーツを見る目を養う。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツの歴史をふまえたうえで 文化としてのスポーツを説明できる。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	スポーツの歴史と概念 文化としてのスポーツ			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会におけるスポーツの役割について説明することができる。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	社会の中のスポーツ			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツプロモーションについて理解することができる。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	我が国のスポーツプロモーション			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ活動における安全管理について理解することができる。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	スポーツと健康 スポーツ活動と安全管理 活動中のけがや病気			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ指導者(コーチ)に求められている事を説明することができる。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	スポーツ指導者(コーチ)とは 指導者の倫理、心構え、視点			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ指導計画について理解することが出来る。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	スポーツ指導計画の立て方		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツクラブの運営について理解することが出来る。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	統合型地域スポーツクラブの育成と運営		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ組織のマネージメントについて理解することが出来る。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	スポーツ組織のマネージメントと事業のマーケティング		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ組織の事業マーケティングについて理解することが出来る。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	スポーツ組織のマネージメントと事業のマーケティング スポーツ事業のプロモーション		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	発育発達期に行うスポーツの注意点を理解することができる。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	発育発達期の身体的特徴、心理的特徴		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	トップアスリートを育てるために、指導者が持つべき視点について理解することが出来る	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	トップアスリートを育てるために 指導者が持つべき視点		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	トップアスリートの育成・強化の方法や評価について理解することが出来る。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	トップアスリートの育成・強化の方法とその評価		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技量向上のためのチームマネージメントについて理解する事が出来る。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	競技力向上のためのチームマネージメント		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技力向上のための方法と活用について理解することが出来る。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	競技力向上のための方法とその活用		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	今までおこなってきた内容について説明する事が出来る。	日本スポーツ協会 リファレンスブック	資料を用いて授業でやった内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	総復習		